

東京港港湾計画の改訂 都民意見の募集について＜概要＞

○募集期間：平成 26 年 5 月 1 日（木）～5 月 15 日（木）

○募集方法：

①概要パンフレットの配布

・意見等の返信用はがき付

＊配布・設置箇所は、港湾関連事業者や港湾局情報提供コーナーなどを予定

②東京都港湾局ホームページ

・ <http://www.kouwan.metro.tokyo.jp/>

③その他

・郵送、FAX による方法

○意見の送付先（問い合わせ先）

〒163-8001

東京都新宿区西新宿2-8-1

東京都港湾局 港湾整備部 計画課 港湾計画係

TEL：03-5320-5612

FAX：03-5320-5618

E-Mail：S0000524@section.tokyo.jp

世界に誇る都市型総合港湾・東京港を目指して

港湾計画の策定に向けて、
ご意見をお寄せください



東京都港湾局

I 東京港第8次改訂港湾計画

東京都は将来における東京港の更なる発展を目指し、みなさまのご意見を踏まえたうえで、「東京港第8次改訂港湾計画」（目標年次：平成30年代後半）を策定いたします。

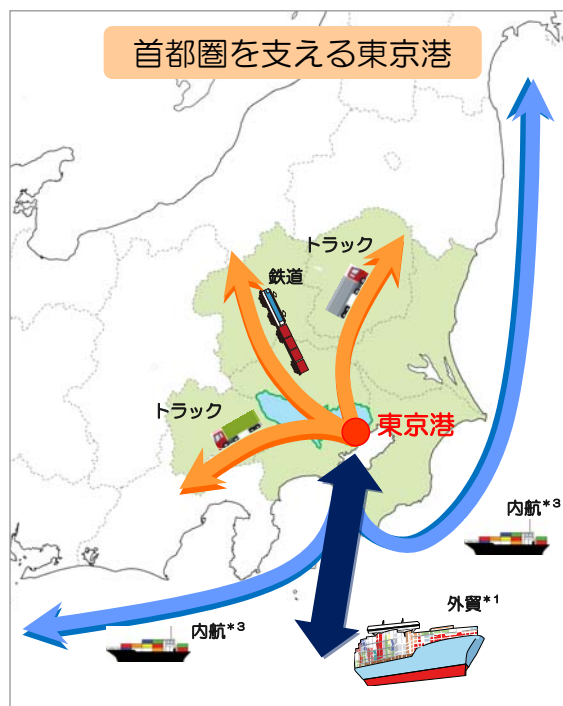
■港湾計画とは

港湾計画とは、港湾管理者である東京都が、港湾法に基づき東京港の今後の施設整備計画や空間利用計画、環境施策などを長期的な視点で定める基本計画です。

現行計画は平成17年に策定したもので、今回、社会情勢の変化や東京港を取り巻く環境変化を踏まえ、概ね10年後の「東京港の目指すべき姿」や「求められる取組」を実現するため、港湾計画の改訂を予定しています。

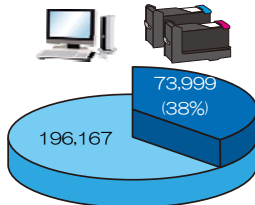
II 首都圏の生活と産業を支え、潤い・賑わいをもたらす東京港

- ・日本一の外貨*1コンテナ*2貨物の取扱個数を誇る国際貿易港として、パソコンの部分品・付属品など付加価値の高い製品を輸出するとともに、食料品や家具など生活に必要な物資を輸入し、首都圏4,000万人の生活と産業を支えています。
- ・臨海副都心をはじめ臨海地域に多くの公園緑地や魅力ある水辺空間を有し、人々に潤いや賑わいを与えると同時に、多くの人々が訪れるまちとして発展を続けています。
- ・災害発生時における被災者の避難や緊急救援物資の輸送など、防災面でも重要な役割を担っています。



生活と産業を支える東京港

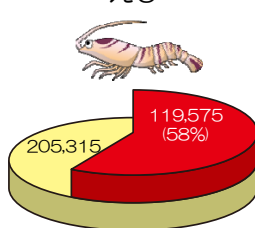
電算機器の部品類
(PC部品・トナーカートリッジ等)



東京港輸出量と割合(トン, %)

日本全国の輸出量(トン)

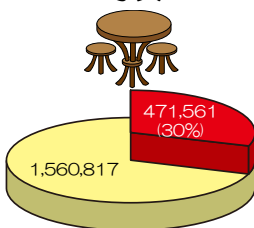
えび



東京港輸入量と割合(トン, %)

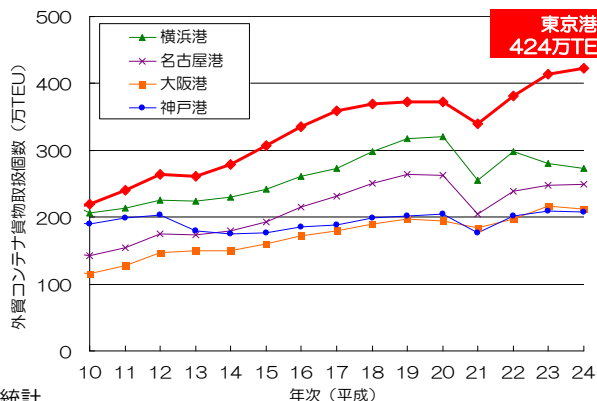
日本全国の輸入量(トン)

家具



出典：貿易統計

外貨コンテナ取扱量が日本一



*1 外貨：外国貿易のこと。

*2 コンテナ：貨物を効率的に運ぶため、規格や寸法が定められた輸送用容器のこと。サイズは長さを表し、20フィート（約6メートル）、40フィート（約12メートル）などがある。

*3 内航：国内の海上輸送のこと。

*4 TEU：コンテナ個数を表す単位のこと。20フィートコンテナ1個を1TEUとする。

Ⅲ 港湾計画改訂の方針 ～世界に誇る都市型総合港湾・東京港の創造～

港湾機能と都市機能が有機的に結合した魅力ある都市型総合港湾を目指し、以下5つの施策の連携に取り組み、世界に発信していきます。

①世界とつながる国際貿易拠点港

欧米との国際基幹航路*1はもとより、アジア航路の拡充を図るため、施設の新規整備や既存ふ頭の再編・高度化を進めるなど国際競争力の強化を図り、総合的な物流の効率化を推進します。

②世界から人が訪れる国際観光港湾

東京都心部を背後に擁する優位性を活かし、国際会議の誘致や観光振興等の取組を推進し、魅力あるみなと・まちづくりを展開していきます。

③世界をリードする環境先進港湾

臨海部に住み、働く人々、また訪れる都民や観光客など、全ての人々にとって重要な環境資産である緑地や水辺空間の魅力向上に取り組み、人とみなと・海とのつながりを取り戻します。

④世界を魅了し未来を切り開く「スポーツ都市東京」

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、スポーツの力で人と都市が活性化する「スポーツ都市東京」の実現に寄与していきます。

⑤世界に誇れる安全・安心なベイエリア

大規模災害発生時においても、津波・高潮から都民の生命や財産を守るとともに、首都圏経済活動の停滞を回避するため、東日本大震災の教訓を踏まえて、さらなる防災力の強化を図ります。

*1 国際基幹航路：アジア～北米・欧州間を結ぶ主要な航路のこと。

きりとめ



差出有効期限
平成26年5月
31日まで

163-8001

434

東京都新宿区西新宿2-8-1

東京都港湾局港湾整備部計画課 行

お手順をおかけしますが、次の質問にお答え下さい

あなたはどのような機会に東京港の臨海地域を訪れますか（複数回答可）

☐ 観光・買い物等で訪れる

☐ 臨海地域に居住または就労している

☐ 港湾関連業務に従事している

☐ その他（ ）

性別	男 ・ 女	年齢	歳
お住まい	都内 ・ その他	お勤め先	都内 ・ その他



意見募集について

東京港港湾計画策定に向けて、みなさまのご意見をお寄せください。ご意見は左のハガキをご利用になり郵送していただくか、ファクシミリや電子メールにて下記のあて先までお寄せください。意見募集の詳細につきましては、都民情報ルーム（都庁第一庁舎3階）や港湾局ホームページでもご覧になれます。

<FAX>：03-5388-1578

<E-Mail>： S0000524@section.metro.tokyo.jp

<東京都港湾局ホームページ>

<http://www.kouwan.metro.tokyo.jp/>

募集期間

平成26年5月1日（木）～5月15日（木）

お問い合わせ先

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

東京都港湾局港湾整備部計画課港湾計画係

TEL：03-5320-5612

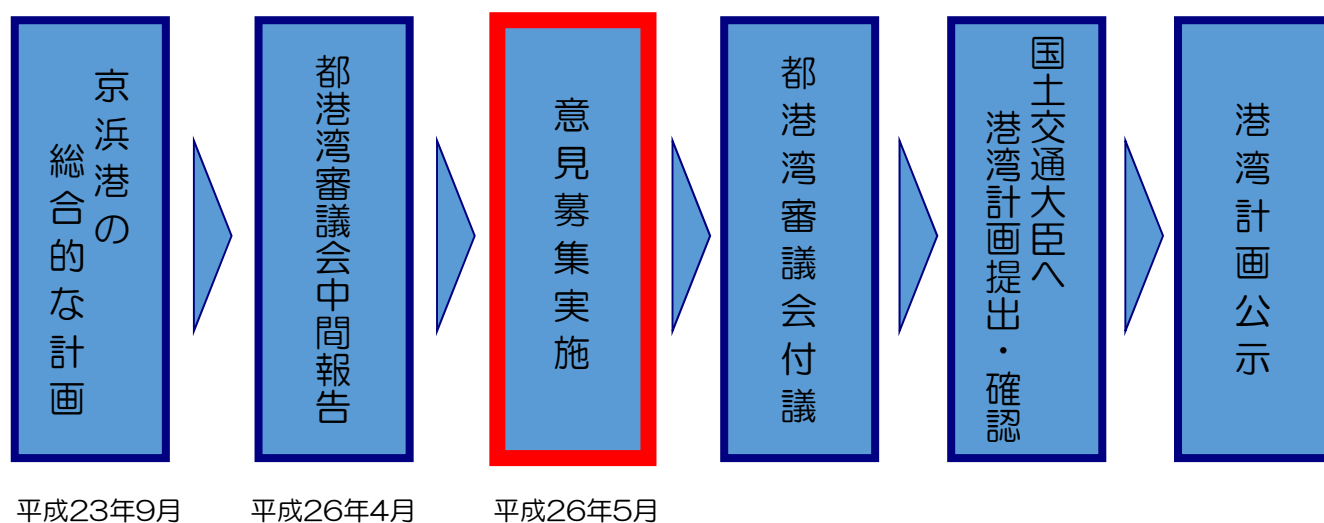
東京港とは

荒川河口から多摩川河口に囲まれた範囲に位置する東京港は、国際貿易港及び国内拠点港として、首都圏の生活と産業を支える重要な役割を担っています。

また、東京港の海域や埋立地は、臨海副都心における交流拠点の形成、人々に潤いをもたらす海上公園や都市の骨格をなす交通インフラの整備など、東京のまちづくりを支える場としても多様な役割を果たしています。



東京港港湾計画改訂のながれ



東京港第8次改訂港湾計画に関する情報閲覧方法

港湾局ホームページまたは下記で詳細な情報を閲覧することができます。

◇東京都港湾局ホームページ

『<http://www.kouwan.metro.tokyo.jp/>』

◇港湾局情報提供コーナー（都庁第二本庁舎25階）

◇都民情報ルーム（都庁第一本庁舎3階）



東京都港湾局

港湾整備部計画課

〒163-8001

東京都新宿区西新宿2-8-1

都庁第二本庁舎26階

TEL：03-5320-5612

登録番号（26）1

港湾計画改訂の主な内容

① 世界とつながる国際貿易拠点港

○ 外内貿コンテナふ頭の再編・拡充・機能強化

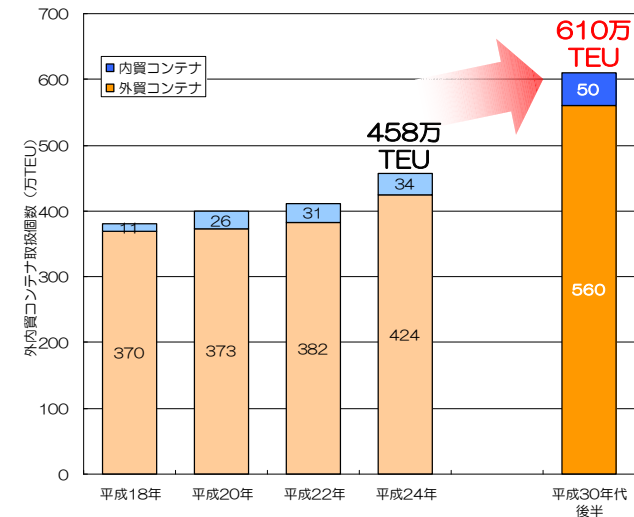
- ・増加するコンテナ貨物及び今後の船舶の大型化に対応するため、大井コンテナふ頭南端の既存ふ頭の用途変更を行い、コンテナふ頭（水深16m、1バース*1）を計画します。
- ・急増するアジア貨物に対応するため、既存施設（品川ふ頭）を活用するとともに、利用の低下している木材関連施設を再編し、15号地に外貿多目的ふ頭（水深12m、2バース）を計画します。

○ ロジスティクス*2機能の強化

- ・新たに造成する土地を効率的に活用するとともに、現行の土地利用計画の見直しを行い、ふ頭の背後のロジスティクス機能を強化し、総合的な物流の効率化を推進します。

○ 交通混雑対策

- ・「東京港総合渋滞対策（平成26年2月策定）」に基づき、抜本的な機能強化策を軸に、短期的かつ即効性のある取組を多角的に実施し、東京港の交通混雑の解消を目指します。



首都圏各地とつながる陸上輸送

輸出

輸入



海・陸の結節点となるコンテナターミナル

輸出

輸入



接岸する大型コンテナ船



入港する大型クルーズ客船



臨海副都心と往来する海上バス

② 世界から人が訪れる国際観光港湾

○ 臨海地域の魅力あるみなと・まちづくり

- ・今後開発予定の青海地区北側を中心に、MICE*3・国際観光拠点化を推進するとともに、新たな観光資源を開発し、魅力をさらに高めていきます。

○ 大型クルーズ船の誘致促進

- ・首都の海の玄関口として、大型クルーズ船が着岸可能な新客船ふ頭を着実に整備するとともに、クルーズ客船を誘致し、魅力あふれる臨海地域の更なる賑わいを創出します。

○ 海上交通ネットワークの拡充

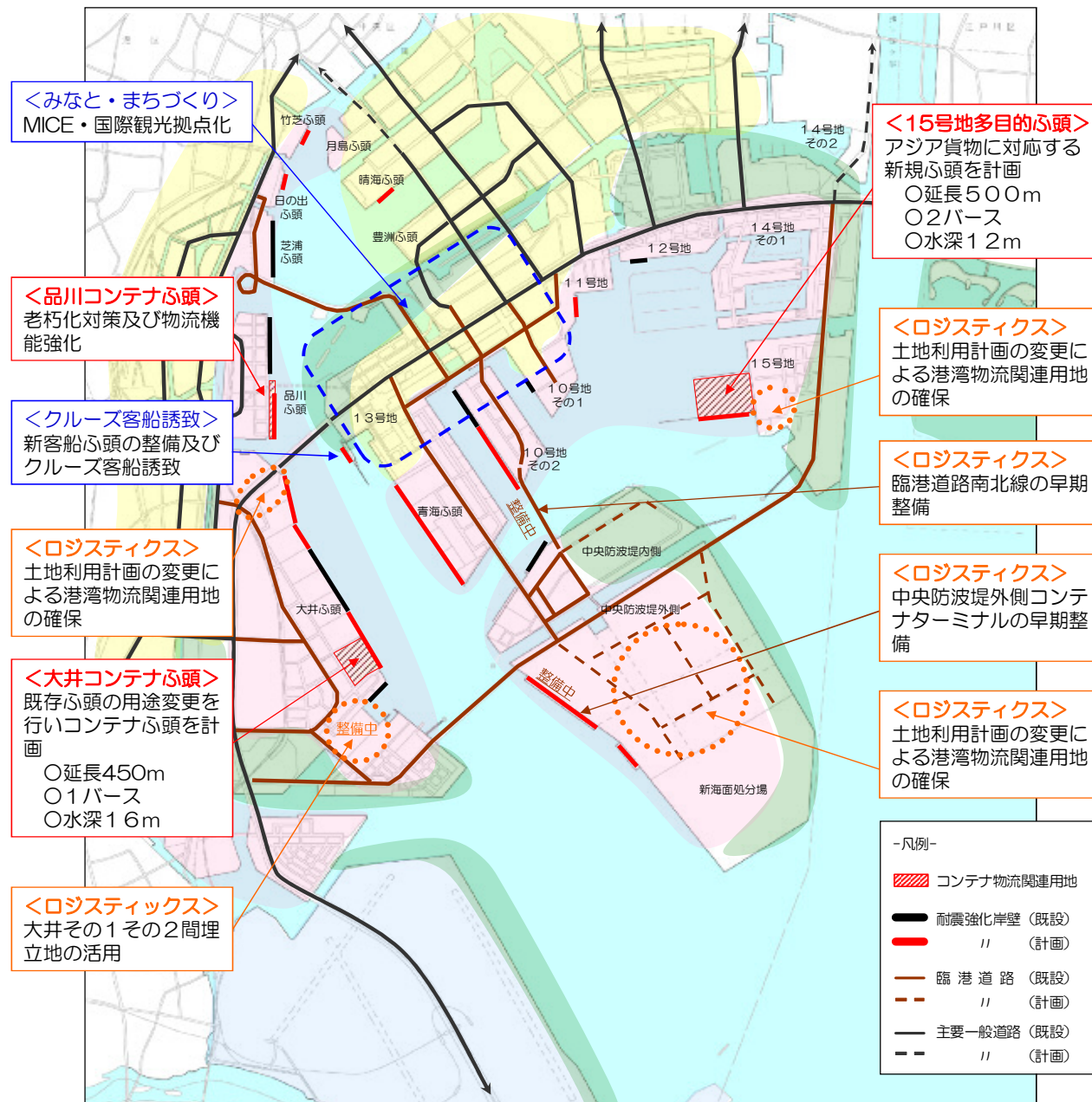
- ・観光と日常の足の両面から臨海部の移動利便性を向上させるとともに、東京港の持つ多彩な魅力を活かした海上交通ネットワークの拡充を推進します。

*1 バース：一隻の船の係留に必要な岸壁等の区画。

*2 ロジスティクス：市場の動きに合わせて生産や仕入活動を行う、物流マネジメントシステム。

*3 MICE：Meeting、Incentive Travel、Convention、Event/Exhibition の総称。

港湾計画改訂の主な内容



＜東京港のゾーニング：上図のピンク・黄・緑のハッチングは東京港の空間利用状況を示す＞

物流機能ゾーン：港湾施設及び物流施設の利用に供するゾーン

都市機能ゾーン：業務・商業・居住機能に加え、観光・交流の機能を発信するゾーン

環境機能ゾーン：良好な港内環境整備を図るとともに、人とみなと・海とのつながりを再生するゾーン

港湾計画改訂の主な内容

③ 世界をリードする環境先進港湾

○良質な環境形成に向けた緑地整備・自然環境再生の推進

- ・立地ゾーンの特徴を活かした緑地・水辺の整備により、水と緑、生物生息環境ネットワークを拡充するとともに、歴史や文化の継承の場の創出、多様な主体との連携による港湾環境の再生を推進します。

○人とみなと・海とのつながりの充実

- ・東京港の持つ多彩な水際を活かし、水辺空間や周辺景観などの特徴を踏まえた空間形成のコンセプトを定め、海と陸との一体性を確保した魅力的な空間整備を推進するとともに、運河ルネサンス*1の取組と連携した賑わいを創出します。

○環境負荷の少ないみなとの実現・都市活動を支える処分場の整備

- ・地球温暖化や大気汚染など、広域的な環境問題に対応するため、船舶や荷役機械など港湾施設等から発生する環境負荷の軽減を進めるとともに、快適な都民生活や都市の活力を維持する廃棄物処分場の整備・延命化に努めます。



④ 世界を魅了し未来を切り開く「スポーツ都市東京」

○オリンピック・パラリンピックを契機とした「スポーツ都市東京」の実現

- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け万全の準備を進めるとともに大会終了後は「スポーツ都市東京」の実現に寄与する地区として将来に引き継いでいきます。

⑤ 世界に誇れる安全・安心なベイエリア

○災害に強いみなとの実現

- ・大規模災害発生時においても緊急物資の円滑な輸送や首都圏経済活動の停滞を回避するため耐震強化岸壁*2の整備を推進します。

○津波・高潮対策の推進

- ・最大級の地震や台風に加え、都民の生命・財産、首都東京の中核機能を守るため、防潮堤や内部護岸、水門等の海岸保全施設整備を推進し防災力を強化します。

○予防保全型維持管理の推進

- ・港湾施設及び海岸保全施設を健全に長寿命化を図るため、予防保全型維持管理への転換を推進します。



*1 運河ルネサンス：利用の低下した運河を観光資源として活用する取組。地域主体のまちづくり等の取組と水域占用許可の規制緩和により、新たな水辺の賑い・魅力を創出。

*2 耐震強化岸壁：緊急物資輸送や被災者輸送等に活用される岸壁。（東京港で予想される最大級の地震に対応）

Q1 それぞれの取組について、あなたが重要だと思う項目に○をつけてください。（複数回答可）

機能	計画内容
①	☐ 既存ふ頭の利用転換による効率化 ☐ 船舶大型化への対応 ☐ アジア向けふ頭の整備 ☐ ロジスティクス機能の強化 ☐ 交通混雑対策
②	☐ 臨海部のみなと・まちづくり ☐ 大型クルーズ客船の誘致 ☐ 海上交通ネットワークの拡充
③	☐ 緑地整備・自然環境再生の推進 ☐ 人とみなと・海とのつながりの充実 ☐ 環境負荷の少ないみなとの実現 ☐ 廃棄物処分場の整備
④	☐ 「スポーツ都市東京」に寄与する臨海地区
⑤	☐ 災害に強いみなとの実現 ☐ 津波・高潮対策の推進 ☐ 予防保全型維持管理の推進

Q2 今回の計画に関連して、ご意見があればご自由にお書きください

ご協力ありがとうございました